



「ひま」が子ども達を育てる

先日、娘と一緒に「トイ・ストーリー 5」を観てきました。テーマは、デジタルデバイスに夢中になる子どもと、それを心配する大人（おもちゃ）たちです。世界中の親が気にしているこの問題の本質はコンテンツやデバイスではなく、あまりに簡単に、無制限に刺激が与えられ続けることにあります。動画を見ている間、子どもはずっと受け身のままであり、「ひま」とは無縁になります。

一方、園生活は違います。全ての遊びは、自分から働きかけて初めて手に入るものばかり。受け身でいると「ひま」なのです。今の時代、デジタルを完全に遠ざけることはできません。大切なのは、距離の取り方や共存の仕方を、子ども自身が身体を通じて学んでいくことだと思います。かつて「保育園に預ける」ことにはどこか後ろめたさが伴う時代もありましたが、今は違う意味を持ちうると私は思います。友達との関わりや、その場でしか生まれない出来事、愛すべき「ひま」があるこの園環境を、これからも大切にしていきたいと思います。

園長 山田 裕宇記